

ピーナッツ山にのぼる 乾菜里子

ピーナッツが山のちかくを歩いていると、ころころと、小さな雪だるまの赤ちゃんがころがってきました。

「わつ、赤ちゃんだ」

ピーナッツはびっくりしてあちこち見ましたがだれもいません。

「ママ」

「ママじゃないよ。」

ピーナッツだよ。

どうしよう？ 山の

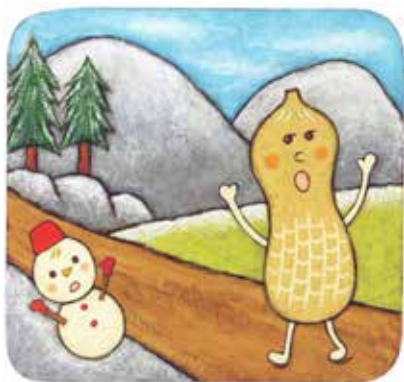
ほうからきたから

行ってみようか」

ピーナッツは赤ちゃんをだっこして山にのぼってみましたが、だれもいません。

「しやうがない。もうちよつとのぼってみよう。よいしょ、よいしょ」

ずいぶんのぼりましたが、やつぱりだれもいません。そのうえ山には雪がつもっています。ピーナッツが雪の中をふうふういいながらいっしょうけんめい歩いている



と、赤ちゃんが泣き出しました。

「えーん、えーん」

「よしよし、ゆーらゆーら」

やさしくゆらしても泣きやみません。

「うえーん、うえーん」

「泣かないで、ぴろぴろーばあ」

おもしろい顔にしても泣きやみません。ピーナッツはこまづいてしまいました。

「寒くて足もいたくて、ぼくが泣きたいよー」
そのとき、冷たい

風がビューッと吹きました。ピー

ナッツは寒くてぶるぶるふるえまし

た。すると体の中

の豆がチャッポコ、

チャッポコと音を

たてました。風

がビュー、ピー

ナッツがぶるぶる、

豆がチャッポコ、

チャッポコ。ビューぶるぶるチャッポコチャッポコ。

「えへへ、おもしろいぞ」

ピーナッツは音にあわせて歌いました。



♪ パーのナッツはパーナッツ

♪ ピーのナッツはピーナッツ、へいっ！

すると、赤ちゃんがびたつと泣きやみました。

「あれ、ぼくの歌すき？」

ピーナッツはうれしくなって何度も歌いました。ピーナッツが「へいっ！」というたびに赤ちゃんが笑います。

歌いながらがんばつてのぼっていくと、とうとう雪だるまの国につきました。

赤ちゃんを探していたパパとママはとってもとっても喜んで、特製アイスクリームをこ

ちそうしてくれました。ピーナッツが「あまくておいし

いなあ、でも寒いなあ」と思いながら食べていると、か

き氷、雪まんじゅう、冷やしポテト、冷やしカレー、冷

やしたこ焼きと、どんどん冷たい料理が出てきます。

「ありがとう。でもぼく、寒くてもうだめです。帰ります」

ピーナッツがそういつて外へ出ると、風がビューッと吹きました。ピーナッツがぶるぶるふるふるえると、豆が

チャッポコ、チャッポコ。ビューぶるぶるチャッポコ

チャッポコ。すると、赤ちゃんがかわいい声で歌いました。

♪ パンパン、パーンツ

♪ ピンピン、ピーナツ、へいへいへい！

「ぼくの歌だ。うれしいなあ。また会いにくるね」

